

盲導犬がやってきた！
利根町立文間小学校「盲導犬学校キャラバン」



▲森さんとシェリーが障害物を避けて歩く様子

2月8日(水)、公益財団法人 日本盲導犬協会 神奈川訓練センターから戸井口和生さんと盲導犬のユーザーでもある千葉県盲導犬使用者の会会長の森公子さんが、盲導犬の「シェリー」と一緒に文間小学校に来ました。森さんは柏市に在住しており、当日、学校まで電車やバスを乗り継いで来たそうです。

子どもたちには体育館で、視覚障害や盲導犬についてデモンストレーションを交え、手引き歩行などの実演講習が行われました。講習では『盲導犬を必要としている方に対し、盲導犬が不足していること』、『盲導犬の仕事』、『盲導犬と歩いている人が困っている様子だったらどうしたらよいか』などの話がありました。



▲実際に手引き歩行を体験する児童

子どもから「盲導犬と一緒にいて困ったことは何ですか」という質問に森さんは、「飲食店やタクシーを利用したいときに犬と一緒にでは駄目と断られてしまうことです」と答えていました。また、盲導犬が仕事をしているところを見かけたら、犬には触らないこと、目を合わせないこと、名前を呼ばないことなどの説明があり、「障害がある方に声をかけ、犬には『温かい無視』をして」と、子どもたちに呼びかけていました。

講習会の最後には「障害があって生活している方たちへの理解が深められ、障害がある方がもっと社会参加しやすい世の中になってほしい」と、メッセージが送られました。盲導犬のシェリーは、今年で10歳になり、盲導犬を引退するそうです。シェリーからたくさんのお話を学んだ時間となりました。

シルバーリハビリ体操講演会



2月16日(木)、利根町公民館でシルバーリハビリ体操講演会が開催されました。当日会場には、日ごろ各地区で開催しているシルバーリハビリ体操の受講生など約350名が参加し、広い会場を埋め尽くしました。講師にシルバーリハビリ体操の考案者である大田仁先生をお招きし「異次元の高齢者社会を乗りきる」と題し講演をいただき、改めて介護予防のためにもリハビリ体操などを続けること(自助)やお互い様の気持ちで助けあひ助け合うこと(互助・共助)が日常の中で大事であることを学びました。講演後は、体操補助ロボット「たいぞう」と一緒にシルバーリハビリ体操を楽しく実践しました。

霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦を実施



上曽根地区

霞ヶ浦北浦流域21市町村で構成される霞ヶ浦問題協議会の提唱により、昭和49年3月から毎年春(3月)と夏(8月)に実施している清掃活動は、今回で87回目となります。

利根町では3月5日(日)に新利根川沿いの8地区(羽根野・押付新田・押付本田・上曽根・下井・立木・立崎・惣新田)の住民の皆さまにご協力をいただき、実施しました。

今後も新利根川の水辺を地域で見守り、霞ヶ浦の水質改善を心掛けましょう。

茨城県町村会町村自治功労者表彰



▲表彰を受ける市村さん(右)

羽根野にお住まいの市村捷二さんが、茨城県町村会から表彰を受けました。市村さんは、平成16年12月に利根町民生・児童委員に選任され、平成28年11月までの4期にわたり地域において、住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、奉仕の精神を持ち、地域福祉の担い手として最前線で活躍されました。さらに、平成19年からは、利根町民生委員児童委員協議会会長を歴任し、利根町全体の地域福祉の向上のために貢献されました。

大空に凧をあげ楽しむ

利根町凧あげ大会



▲14 凧をあげる春日部市 大凧文化保存会の皆さん

2月11日(建国記念の日)、利根町凧あげ大会(利根町凧あげ大会実行委員会主催)が利根緑地運動公園で開催されました。今年で22回目を迎え、町内をはじめ千葉県、埼玉県からの愛好者も参加され、当日は、絶好の青空とほどほどの風がふき、子どもから大人まで凧あげを楽しみました。埼玉県春日部市(元昭和町)の大凧文化保存会の皆さんにより14隻凧があげられましたが、大凧には風が弱く少しだけ大空を舞いました。

いばらきっ子郷土検定で優秀賞



2月4日(土)、茨城県立県民文化センターで「いばらきっ子郷土検定県大会」が開催されました。茨城県の伝統や文化を楽しみながら学ぶことを目的としたこの大会で、県内各市町村から45中学校の2年生(現在3年生)が対象で行なわれ、利根中学校から代表5名の生徒が出場しました。応援する仲間や先生の見守る中、見事に試合を勝ち抜いて、優秀賞を受賞しました。

出場者 鈴木萌華さん、山本愛理さん、木俣陵さん、伊藤汐花さん、木下健さん

「人権問題講演会」開催



笑顔の戦士 生きてるって幸せ、

2月15日(水)、利根町公民館で利根町・利根町教育委員会共催による人権問題講演会が開催されました。

この講演会は、人権意識の高揚を図り、町民がお互いに人権問題について理解と認識を深めあい、明るく住みよい社会をつくることを目的に、開催されたものです。

講師には、熊本市人権教育講師やフリーアナウンサーとして活躍されていた道志真弓さんを招き、命の重さや感謝の心、生きることのすばらしさについて講演をいただきました。

当日は、一般の方、人権擁護委員や民生委員、教育関係者の方々、その他各種団体から250名の方々が参加され、熱心に傾聴していました。